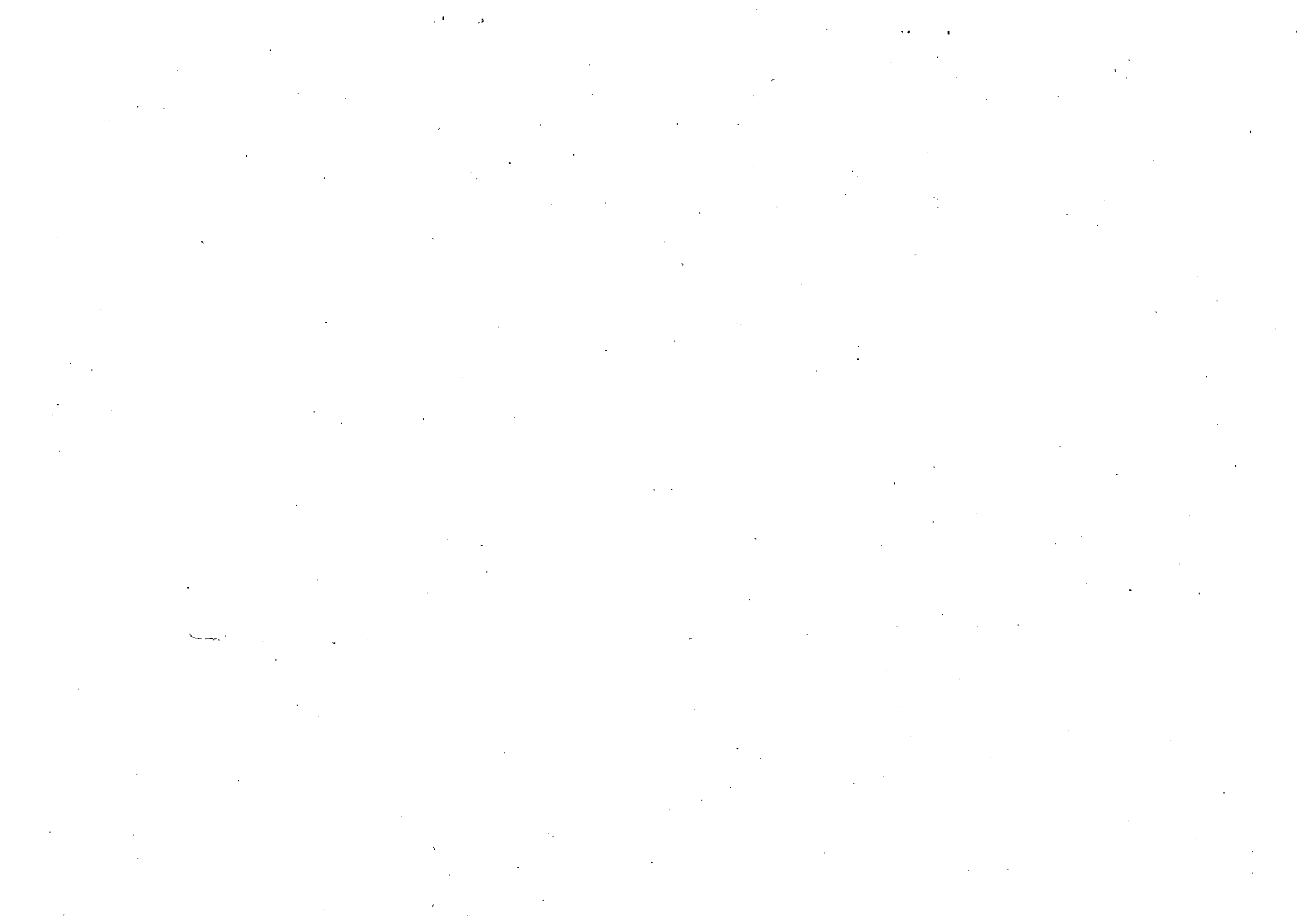




# 山梨県がん対策推進計画(第2次) アクションプラン

## 平成27年度(抜粋)

- 新規事業
- 市町村の取組
- 医療機関(がん診療拠点病院・地域がん診療病院)の取組

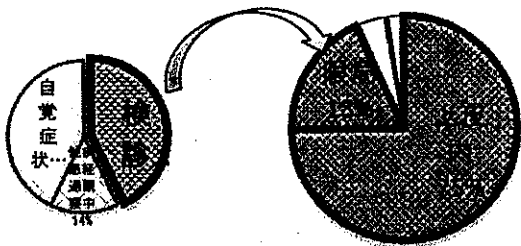


# 子宮頸がん検診受診率向上 モデル事業

大学  
実施

## 子宮頸がん検診は がん検診の中で最も効果大

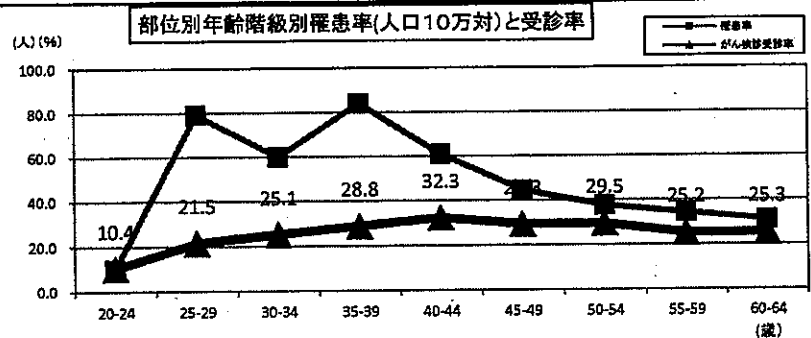
子宮頸がんは、がん検診で発見された場合、93%が早期がんである。  
一方、自覚症状が出てから発見された場合、早期がんであった割合は50%に減少する。  
このことから、子宮頸がんを早期に発見するためには、がん検診が有効である。



出典：山梨県地域がん登録事業

## 20歳代の罹患は多いが受診率は低迷

子宮頸がんは妊娠・出産・子育てと多忙な20~30歳代に多いがん。  
しかし検診受診率は10~20%と低迷。



正しい知識  
の提供

大学における

子宮頸がん 講習会

+

子宮頸がん検診の実施

受診への  
きっかけづくり

子宮頸がん  
講習会

子宮頸がん  
検診の実施

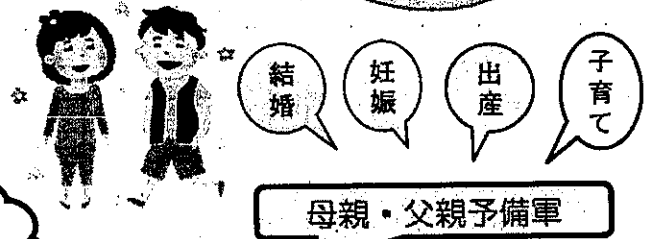
※子宮頸がん講習会開催後、子宮頸がん検診を実施。

会場：2箇所

方法：産婦人科女性医の講演  
大生内容：  
・がんの予防  
・がんの症状  
・がん検診の有効性等

対象：在学中の大学生

対象者：20歳以上の女子  
約60人  
費用：無料



母親・父親予備軍





山梨県がん対策推進計画(第2次)アクションプランにおける医療機関・医療従事者の取組

区分	取組内容	県立中央病院	山梨大学附属病院	市立甲府病院	富士吉田市立病院	山梨厚生病院	
がんの予防	たばこの害の普及啓発	喫煙の健康への影響等の普及啓発	○	×	○	○	○
	防煙教育の推進	地域や学校における防煙対策への協力・支援	○	×	○	×	△
	禁煙希望者支援	禁煙希望者への禁煙治療及び相談支援	○	×	○	○	△
	受動喫煙防止対策	受動喫煙対策の啓発と医療機関の受動喫煙対策の実施	○	○	○	○	○
	普及啓発と学校現場での学習活動	がん予防の普及啓発	○	○	○	×	○
		肝疾患コーディネーターの養成	/	○	/	/	/
	肝炎対策推進と医療体制整備	肝炎に関する医療体制の整備	○	○	○	○	○
	肝炎、肝がんの早期発見、早期治療	専門的な知識、技能を有する従事者の確保	○	○	○	○	○
生活習慣病の発症予防	重症化予防の推進	○	×	○	○	○	
がんの早期発見	がん検診受診率向上普及啓発	がん検診の内容や必要性、受診率向上のための普及啓発	○	×	○	○	○
	がん検診受診率向上と精密検査未受診者へのフォローの促進	精密検査を受けやすい医療体制整備の推進に努める	○	×	○	○	○
		精密検査受診者の結果報告還元への協力	○	×	×	○	○
がん医療の充実	医療従事者が研修を受けやすい環境整備と研修会等への積極的な派遣に努める	医療従事者が研修を受けやすい環境整備と研修会等への積極的な派遣に努める	○	○	○	○	○
		がん種ごとのカンファレンス(カンサーボード)を開催するなどの確な診断と治療を行う診療体制整備に努める	○	○	○	○	○
		手術療法、放射線療法、化学療法の各種医療チームを設置するなどの多職種でのチーム医療の促進に努める	○	○	○	○	△
		医科歯科連携や栄養管理、リハビリテーション等の職種間連携の促進に努める	○	○	○	○	○
		各診療科の連携、がん看護体制の更なる強化に努める	○	○	○	○	○
	緩和ケアの推進	緩和ケアに関する啓発や講演会の開催	○	○	○	○	○
		拠点病院連絡協議会緩和ケア部会の開催	○	/	/	/	/
		拠点病院における緩和ケア研修の開催	○	○	○	○	△
		緩和ケアチームや緩和ケア外来などの緩和ケアの提供体制整備の促進に努める	○	○	○	○	○
地域医療・介護サービス提供体制構築	在宅療養支援診療所等との勉強会の開催	○	○	○	○	△	
	在宅療養支援診療所等との勉強会の開催	○	○	○	○	△	
相談支援・情報提供	相談支援・情報提供を担う人材育成と資質向上	医療従事者が研修を受けやすい環境整備と研修会等への積極的な派遣に努める	○	○	○	○	○

山梨県がん対策推進計画(第2次)アクションプランにおける医療機関・医療従事者の取組

区分		取組内容						
がん患者の就労・社会的問題への取組	がん患者の就労を含めた社会的問題への取組	拠点病院は、診療実績や相談支援センターの活動内容の公表とPR	○	○	○	△		
		がん治療を行う医療機関では、相談支援センター、がん患者サポートセンター等の相談窓口及び活動内容について紹介	○	○	○	○		
		拠点病院連絡協議会でのがん医療等に関する冊子の作成と内容の直し、更新	○	○	○	△		
		がん治療を行う医療機関では、県、拠点病院連絡協議会で作成する冊子を活用	○	○	○	△		
		拠点病院は、がん看護専門看護師、社会福祉士、臨床心理士等の相談支援センターへの配置に努める	○	○	○	△		
		拠点病院の相談支援センターは、他の相談支援センター、がん患者サポートセンターとの情報共有、協力体制整備に努める	○	○	○	△		
		拠点病院の相談支援センターは、ピア・サポートによる相談支援との連携協力を図り適切な情報提供と相談支援に努める	○	×	○	△		
		拠点病院は、小児がん患者の早期発見や治療後のフォローアップ、希少がん患者の診断、治療に関する研修会の開催	×	×	○	×		
		院内がん登録の実施と地域がん登録への積極的な協力	○	○	○	△		
		地域がん登録事業の精度向上とデータの活用	院内がん登録情報からの医療機関体制等の評価、見直し	○	○	○	△	
がん研究	がん研究	拠点病院連絡協議会院内がん登録部会における研修会の開催と情報提供	○	○	○	△		
		都道府県拠点病院では、がん解折センターの整備を図り研究を推進	○	○	○	△		
		がん解折センターでは、研究成果を、個々の遺伝子情報に基づいた医療(オーダーメイド医療)や疾病管理に活用	○	○	○	△		
		がん研究に関する研修会等の開催	○	○	○	×		
		県民への普及啓発	がん予防等の普及啓発の推進	○	○	○	△	
		相談支援体制の整備	相談支援センターの相談支援、情報提供機能の強化	○	○	○	○	
		がん患者の就労・社会的問題への取組	就労を含めた社会的問題への取組	拠点病院は、就労に関する関係機関との連携の強化に努める	△	△	×	△
				拠点病院では、相談支援センターに社会的な問題に対応できる相談員を配置するよう努める	△	△	×	△
				拠点病院は、就労に関し関係機関との連携の強化に努める	△	△	×	△

※1 現在実施している ○ 今後取り組む予定 △ 実施予定なし ×